

地域医療構想にかかる医療・病床懇話会の意見（概要）

開催日時：令和5年1月6日 場所：大阪市役所

1 地域医療構想の推進に関する意見

特になし

2 病院の将来プランに対する意見・質問等

懇話会では、過剰病床への転換・再稼働を予定している病院を以下のように分類し、意見をいただいた。

- (1) 10床以上の転換のある病院（府の報告基準設定に影響を受けない転換）
- (2) 現状の機能を府の報告基準に従ったため過剰病床への転換に該当する病院
 - ①入院基本料の変更のない病院
 - ②入院基本料の変更があり、昨年度入院基本料の転換の合意がされていない病院
- (3) 過剰病床への転換はあるが、回復期病床への転換も行い、全体としては地域医療構想の方向性に沿っている病院
- (4) コロナ影響等により一時的な機能の変更であったため、転換となる病院

（意見）

(1)(2)に該当する病院については、病院プランの再提出を求める。修正がなされない場合は、保健医療連絡協議会（地域医療構想調整会議）にて病院からの説明を求める。

3 病院プランの修正がない場合、保健医療協議会においてプラン等の内容について説明を依頼することとなった病院

- （北部）聖和病院：(2)②に該当*
- （西部）関西電力病院：(2)①に該当
- （東部）大手前病院(2)①に該当*
- （再編統合）医誠会病院・城東中央病院：(1)に該当

※懇話会后、病院プランを修正いただいたため、協議会における説明を依頼しないこととなった。

4 重点支援区域の申請についての意見

特になし

5 病床機能再編支援事業申請医療機関についての意見

特になし

6 地域医療連携推進法人内での病床融通の実施についての意見

○地域医療連携推進法人淀川ヘルスケアネットより、医療法人彰療会大正病院から社会医療法人愛仁会千船病院への病床融通について説明があり、特に反対意見はなかった。

（意見）

- ・地域医療連携推進法人による地域医療の効率化という国の方針にも沿っており、地域における周産期医療提供体制の強化にも資するものであると考える。
- ・休棟中の病床を他の病院で急性期病床として再稼働することとなるが、周産期医療の状況を勘案すると、今回の病床融通は必要であると考え。